

平成30年12月4日

会社名：日本エンタープライズ株式会社  
(東証一部 コード番号 4829)  
代表者名：代表取締役社長 植田 勝典  
問合せ責任者：常務取締役 田中 勝

## 【NEグループ：会津ラボ】 福島県浪江町における初の自動走行の公道実証試験開始

日本エンタープライズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：植田勝典）の子会社である株式会社会津ラボ（本社：福島県会津若松市、代表取締役社長：松永州央、以下会津ラボ）は、福島トヨペット株式会社（本社：福島県郡山市、代表取締役社長：佐藤修朗、以下福島トヨペット）と協業し、福島県の「平成30年度地域復興実用化開発等促進事業」における「自動運転に係る情報基盤の構築及びまちなか巡回車両の実用化に向けた実証試験」（以下、「本実証試験」という。）に取り組んでおりますが、この度平成30年12月3日に公道での実証試験開始セレモニー（写真上）を開催いたしましたのでお知らせいたします。



セレモニーの様子

本実証試験は、平成31年度までに自動運転車両を用いた公共交通サービスの実現と関連する情報基盤の構築を目的としています。

具体的には、浪江町駅周辺において、自動運転による巡回交通サービスを実現するため、当該自動運転車両で使用される各種センサ類のデータや3次元マップ等を地域情報基盤として共通利用できるシステム開発を実施してまいりました。

この度、浪江駅から浪江町役場を結ぶ約1kmにおいて、公道での自動走行が行われました。（写真下）

本実証試験は、今後も毎週火曜日、第一木曜日、第三木曜日の14：00～16：00の間、最大2往復程度の運行を実施予定です。「自動化」に向けた取り組みのため、道路交通法に基づき、運転席にドライバーが座り、必要な安全対策を行いながらの走行となります。車体には「自動走行 公道実証実験中」の表示を行います。



公道での自動走行の様子

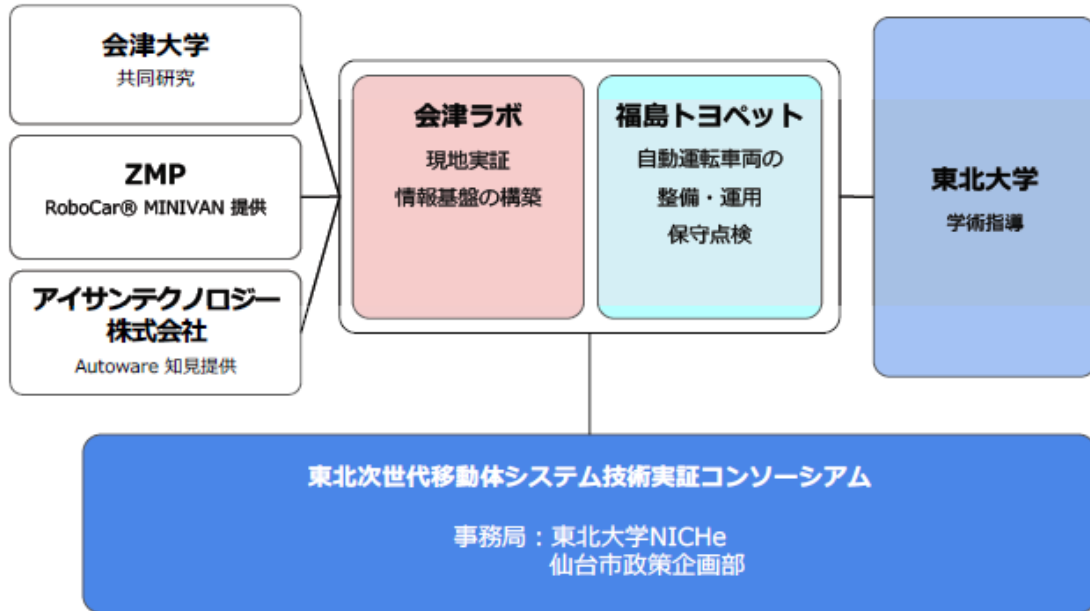
今年度は浪江町役場と浪江駅間を結ぶ直線道路において実証試験を実施していきますが、警察及び浪江町、その他関係機関と調整の上、今後実証範囲を拡大していきます。

これからも、学術機関や国内における自動運転実証の実績ある事業会社の協力により、過疎地域や高齢者向けの公共交通機関として自動運転による移動サービス等のソフトウェア・運行に係るノウハウを習得することにより新規事業の創出に努めてまいります。

＜報道関係者＞	日本エンタープライズ株式会社（広報・IRグループ） TEL:03-5774-5730 EMAIL:ir@nihon-e.co.jp <a href="http://www.nihon-e.co.jp">http://www.nihon-e.co.jp</a>
＜お客様＞	株式会社会津ラボ（常世） TEL:0242-23-8285 EMAIL:info@aizulab.com <a href="http://www.aizulab.com">http://www.aizulab.com</a>

## NEWS RELEASE

### ■主な参画者と役割



### ■実際の走行ルート



(浪江町役場、浪江駅を結ぶ青線が走行ルートとなります。)

### ■株式会社会津ラボ

所在地：	福島県会津若松市インター西 53 2F
代表者：	代表取締役社長 松永州央
事業内容：	◆iOS/Android アプリ開発、WEB システム開発、3DCG・画像・映像制作 ◆IoT、EMS、スマート農業、ドローン、自動運転など新技術領域における研究開発 ◆観光クラウド「指さしナビ」
資本金：	2,950 万円
設立：	平成 19 年 1 月 4 日
URL：	<a href="http://www.aizulab.com">http://www.aizulab.com</a>